

付添看護実態調査（施設票）

昭和55年11月

社団法人 日本看護協会

ご あ い さ つ

最近入院看護に対して患者・家族の関心が高まり、付添看護についても様々な問題が言われています。

一方、基準看護病院では、現在原則として付添が認められていませんが、病院によっては付添に頼らざるを得ない事情のところも少なくないようです。

今や私たち看護職自身が現実を直視し、付添のあり方、病院看護のあり方についてははっきりした考えを持ち、改善に向けて具体的に動き出す時機にきているといえます。

そこで日本看護協会では病院看護——とりわけ療養生活上の世話のサービスを充実させるため、このたび付添看護の実態を把握することが緊要と考えました。この調査は全国の一般病院すべて（基準看護病院を含む）を対象に、付添看護の現状と問題及び総婦長のお考えを明らかにして、病院看護のあり方とその改善対策の基礎資料とするものです。

調査内容には特に基準看護病院では答えにくい項目があるかもしれませんが、調査の趣旨をご理解の上是非とも正確にご記入下さいますようお願いいたします。なお、回答は病院名無記名で、調査結果は統計的に扱いますのであなたのお答えがもれることは絶対にありません。

記入上のお願い

- この調査では「付添」とは病室に泊まりこんで患者に付添っている家族や付添婦をさすものとします。ただし、臨終の際の家族の立会いは省きます。
- 回答はすべて11月12日現在の事実をお答え下さい。質問によっては調べなければならないものもあります。ご多忙中お手数をおかけしますが、できるだけ正確にご記入下さい。
- 回答欄に必要な数字またはあてはまる番号を記入して下さい。
- 書き終わりましたら、同封の封筒でなるべく早く送り返して下さい。最終期日は12月15日です。

問い合わせ先

（社）日本看護協会調査研究部

TEL 03 (400) 8331 ㊦ 231

※ まず、あなたの勤務している病院のことについておたずねします。すべて
11月12日現在の事実についてお答え下さい。

問1. 設置主体

- 1 厚生省 2 文部省 3 その他の国立
4 都道府県、政令市 5 市町村 6 日赤
7 厚生連、北海道社会事業協会、国保連合会、済生会
8 厚生団、船員保険会、健保連、国保組合、共済組合、
全国社会保険協会連合会
9 学校法人 10 医療法人、個人
11 会社、公益法人、その他の法人

問2. 病院全体の許可病床数

- 1 20～49床 2 50～99床 3 100～199床
4 200～299床 5 300～399床 6 400～499床
7 500～999床 8 1000床以上

問3. 11月12日の入院患者総数

担送・護送者数（再掲）

総数	<input type="text"/>	人
再掲	<input type="text"/>	人

問4. 11月12日当日の実際の病棟勤務者数（いない場合は0と記入して下さい）

	日勤	準夜勤	深夜勤	当直・二交替の夜勤
保健婦・助産婦・看護婦(士)	人	人	人	人
准看護婦(士)				
看護助手				
病棟事務員				

問 5. 平日の面会時間

1日当たり合計 時間

問 6. 病院の所在地

- 1 政令市 (東京都 23 区、札幌市、横浜市、川崎市、名古屋市、
京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市)
- 2 県庁所在地 (秋田市、千葉市、甲府市、鹿児島市など)
- 3 その他の市
- 4 郡 部

※ 次に、付添看護のことをおたずねします。11月12日現在の事実についてお答え下さい。

問 7. あなたの病院には付添がいますか。

付添とは病室に泊まりこんで患者に付添っている家族や付添婦をさすものとして
ます。

- 1 い ない → 問 2 2 へ
- 2 い る

問 8. 11月12日現在泊まりこんで付添がついている患者は全体で何人いますか。

人

うち家族がついている患者は何人いますか。

人

問 9. 付添のついている患者数を年齢別にお答え下さい。

0 歳	<input type="text"/> 人	30 歳代	<input type="text"/> 人
1 ~ 6 歳	<input type="text"/> 人	40 歳代	<input type="text"/> 人
7 ~ 15 歳	<input type="text"/> 人	50 歳代	<input type="text"/> 人
16 ~ 19 歳	<input type="text"/> 人	60 歳代	<input type="text"/> 人
20 歳代	<input type="text"/> 人	70 歳以上	<input type="text"/> 人

問1 4. 看護部門は家族や付添婦に対して次のことをしていますか。しているものすべてをお答え下さい。

- 1 患者の状態を説明する
- 2 付添のすることについて指導する
- 3 付添の疲労の程度に気を配る
- 4 患者や家族と付添婦とのトラブルを調整する
- 5 その他()
- 6 特に何もしていない

問1 5. あなたの病院では、家族や付添婦のために次のものが準備されていますか。あるものすべてをお答え下さい。有料の場合も含みます。

- | | | |
|------------|-------|-------|
| 1 給食 | 2 調理場 | 3 洗濯機 |
| 4 乾燥室(機) | 5 風呂場 | 6 ベッド |
| 7 ふとん | 8 休憩室 | |
| 9 その他() | | |
| 10 特に準備はない | | |

※ 続いてあなたの病院の付添看護のあり方について、日頃のお考えをおたずねします。

問1 6. あなたの病院では、家族や付添婦のことで現在患者の療養生活上何か問題が起きていますか。最も問題となっているものから順に2つまでお答え下さい。1つだけでもかまいません。

- 1 病棟環境が不潔になる
- 2 付添のいない他の患者に悪影響を与える
- 3 付添が患者を甘やかす
- 4 付添が看護婦や医師の指示をきかない
- 5 看護婦が患者に近づかなくなる
- 6 その他()
- 7 特に問題はない → 問1 9へ

一番問題となっていること

二番目に問題となっていること

問 1 7. ではあなたはその問題を改善したいと思いますか。またそれについて何らかのとりくみを始めていますか。

- 1 改善に向けてとりくんでいる → 次の問へ
- 2 改善に向けてとりくむつもりでいる → 次の問へ
- 3 改善したいとは思いますがどうしようもない
- 4 改善したいとは思わない

それはなぜですか。理由をお聞かせ下さい。

()

問 1 9 へおすすみ下さい。

問 1 8. 改善にむけてどのようなとりくみをしているのですか。またはするつもりですか。2つまでお答え下さい。

- 1 看護部門の中で付添看護問題を改善しようという盛り上がりを強くする
- 2 看護部門の中で付添をつけるときの方針をはっきりさせる
- 3 付添をつけるとき、患者・家族の話をきいた上で判断する
- 4 付添に看護方法などをもっと説明する
- 5 付添婦を病院雇いとする
- 6 医師や事務など他部門との業務分担をすすめる
- 7 看護助手を増員する
- 8 准看護婦（士）を増員する
- 9 看護婦（士）を増員する
- 10 その他 ()

問 1 9. あなたの病院では、看護要員が不足しているために付添がついているのですか。

- 1 全部そのためについている
- 2 そのためにつくことが多い
- 3 そのためにつくことは少ない
- 4 そのためにつくことはない

問 2 0. あなたは、付添のあり方を今後どのようにしたらよいと思いますか。

- 1 必要なので今後も置く
- 2 患者や家族が望めば、家族付添を認めることとする
- 3 付添はごく限られた場合に限り（たとえば重症のとき、患者が精神的に非常に不安定なとき）家族付添を認めるだけとする
- 4 付添婦を病院雇いにし、それだけ置くことにする
- 5 付添はすべて廃止する
- 6 その他 ()

問 2 1. あなたは総婦長として、看護部門は今後診療介助業務と、療養生活上の世話のどちらを充実させた方がよいと思っていますか。また、あなたからみて院長や事務長はどう考えていると思いますか。

- 1 診療介助業務の方を充実させたい
- 2 療養生活上の世話の方を充実させたい

総婦長	
院 長	
事務長	

※ 最後あなたご自身のことなどについておたずねします。

問 2 2. 年 齢

- 1 30 歳代 2 40 歳代 3 50 歳代
- 4 60 歳以上

問 2 3. 現在の病院で総婦長になってからの年数

- 1 1 年未満 2 1～3 年 3 4～6 年
- 4 7～9 年 5 10～12 年 6 13 年以上

問 2 4. 病院の基準看護

- 1 基準看護はとっていない 2 特 2 類 3 特 1 類
- 4 1 類 5 2 類

長い間ご協力ありがとうございました。

付添看護調査（患者票）

昭和55年

社団法人 日本看護協会

退院おめでとうございます。

日本看護協会では入院されている方に少しでもよい看護を提供しようとしてつねづね考えておりますが、このたびの協力を得て付添看護の調査を実施することにいたしました。この調査では、入院されていた方々から見た付添看護の実態や入院生活への意見を明らかにし、改善のための基礎資料とするものです。

退院が間近かにせまり何かとお忙しいことと思いますが、調査の趣旨をおくみとりの上、是非皆様の御協力をお願いいたします。

お答えは無記名で、すべて統計として処理しますのであなたにご迷惑のかかることは一切ございません。

—お 願 い—

- ☐入院中付添がつかなかった方もお答え下さい。
- ☐退院される方ご自身がお答え下さい。家族の方が本人に聞きながら記入されてもかまいませんが、家族の方だけの判断で御記入なされないようにして下さい。
- ☐お答えは特にことわりのない限り、あてはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。
- ☐記入後の調査票は、黄色の封筒に入れて封をし退院の時、看護婦にお渡し下さい。

○この調査についてのお問い合わせは

〒150 東京都渋谷区神宮前5-8-2

社団法人 日本看護協会調査研究部

TEL 03(400)8331 ㊦ 231

初めに、あなたご自身のことについてお聞きします。それぞれについてあてはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。

問1. あなたの年齢

- | | | | | | |
|----|--------|----|--------|----|--------|
| 1 | 15～19歳 | 2 | 20～24歳 | 3 | 25～29歳 |
| 4 | 30～34歳 | 5 | 35～39歳 | 6 | 40～44歳 |
| 7 | 45～49歳 | 8 | 50～54歳 | 9 | 55～59歳 |
| 10 | 60～64歳 | 11 | 65～69歳 | 12 | 70歳以上 |

問2. 性別

- 1 男 2 女

問3. 今回の入院日数

- | | | | | | |
|----|-----------|----|-----------|---|--------|
| 1 | 5日以内 | 2 | 6～10日 | 3 | 11～15日 |
| 4 | 16～20日 | 5 | 21～25日 | 6 | 26～30日 |
| 7 | 1か月～2か月未満 | 8 | 2か月～3か月未満 | | |
| 9 | 3か月～6か月未満 | 10 | 6か月～1年未満 | | |
| 11 | 1年以上 | | | | |

問4. 何科に入院されましたか。

- | | | | | | |
|----|-------|----|------------|----|-----------|
| 1 | 内科 | 2 | 呼吸器科 | 3 | 消化器科(胃腸科) |
| 4 | 循環器科 | 5 | 神経内科 | | |
| 6 | 外科 | 7 | 整形外科 | 8 | 形成外科 |
| 9 | 脳神経外科 | 10 | 産婦人科または婦人科 | | |
| 11 | 眼科 | 12 | 耳鼻咽喉科 | 13 | 気管食道科 |
| 14 | 皮膚科 | 15 | 泌尿器科 | 16 | 理学診療科 |
| 17 | 放射線科 | 18 | その他() | | |

問5. あなたはどこにお住まいですか。

- 1 政令市 (東京都23区、札幌市、横浜市、川崎市、名古屋市、
京都市、神戸市、大阪市、広島市、北九州市、福岡市)
- 2 県庁所在地 (秋田市、千葉市、甲府市、鹿児島市など)
- 3 その他の市
- 4 郡部

次に付添看護のことについてお聞きします。

*この調査では、家族・親戚または付添婦などがあなたのベッドのそばで泊まりこんだり、朝から晩まで付いていた場合を付添ったと考えます。

問6. 今回の入院中、あなた自身は誰かに付添ってもらいたいと思いましたが。

- 1 是非付添ってほしかった
- 2 できたら付添ってほしかった
- 3 付添ってほしいとは思わなかった → 問7へおすすみ下さい

① 誰に付添ってもらいたいと思いましたが。

- 1 家 族
- 2 親 戚
- 3 付 添 婦
- 4 誰でもよい

② なぜ付添ってもらいたいと思ったのですか。あてはまるものすべての番号を○で囲んで下さい。

- 1 1人であるのが不安だったので
- 2 話相手がほしかったので
- 3 大小便の世話をしてほしかったので
- 4 細かな身のまわりの世話をしてほしかったので
- 5 他の人にもついていたので
- 6 その他（下の□に具体的にお書き下さい）

問7. それでは実際に、あなたには主に誰が付添いましたか。

- 1 つかなかった → 問12におすすみ下さい
- 2 家族についてもらった
- 3 親戚についてもらった
- 4 付添婦を雇った

問8. 家族や付添婦などがつきはじめた頃、あなたはどのような状態でしたか。

あるいは身体を動かすことについてどこまで制限されていましたか。

- 1 常に寝たままで寝返りもできなかった
- 2 常に寝たままであるが、寝返りはできた
- 3 ベッド上で身体を起こせた
- 4 しばらく椅子にすわっていることができた
- 5 立っていることができた
- 6 手助けがあれば歩くことができた
- 7 1人で歩くことができた
- 8 日常生活にはほとんど不自由がなかった

問9. 家族や付添婦などがつきはじめた頃、あなたの病室は次のどこでしたか。

- 1 個室
- 2 2人部屋
- 3 3人以上の大部屋

問10. 今回の入院中、家族など付添がついていた期間は、全部でどれくらいでしたか。

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 5日以内 | 2 6～10日 | 3 11～15日 |
| 4 16～20日 | 5 21～25日 | 6 26～30日 |
| 7 1か月～2か月未満 | 8 2か月～3か月未満 | |
| 9 3か月～6か月未満 | 10 6か月～1年未満 | |
| 11 1年以上 | | |

問1 1. 入院中、あなたは家族や付添婦などについてもらって満足でしたか。

1 満足だった

2 まあ満足だった

3 不満が残る

どのような点で不満だったのですか。○はいくつでもかまいません。

- 1 気がねしながら頼みごとをしていた
- 2 頼みごとをしても思うようにやってくれなかった
- 3 何か頼みたいときにいないことが多かった
- 4 高齢で頼りなかった
- 5 医師や看護婦にいろいろ頼むのでかえって気を使ってしまった
- 6 性格が合わなかった
- 7 手荒だった
- 8 付添料が気がかりだった
- 9 その他（下の□に具体的にお書き下さい。）

ここからは全員がお答え下さい。

問1 2. あなたが入院されていた時、下の表にあげたことを主に誰がしてくれましたか。また本当は誰にしてもらいたいと考えますか。下の □ の中から、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、回答欄の番号を○で囲んで下さい。

項 目 \ 回 答 欄	実際に行なっていた人					あなたがしてほしいと望む人				
体温や脈拍をはかる	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
点滴の液がなくなるかどうかみていて知らせる	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
食事を食べさせてくれたり、食べやすいようにしてくれる	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
身体を拭く	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
大小便の世話	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
寝巻の着がえ	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
あなたが病状の不安や疑問を持った時、まず話す人	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5
家族への連絡	1 6	2 7	3 8	4 9	5	1 6	2 7	3 8	4 9	5

- 1 自分でできた、あるいはその必要はなかった
- 2 誰にもしてもらえなかった
- 3 看護婦（士）、准看護婦（士）
- 4 看護助手
- 5 付添（家族、付添婦など）
- 6 面会にきた家族
- 7 同室の患者
- 8 医 師
- 9 その他の者

問1 3. それでは、家族や付添婦などが、入院生活上の世話をすることについてあなたはどのようにお考えですか。

- 1 入院している時は、すべて病院側で世話をしてもらいたい
- 2 細かな身のまわりの世話は家族にやってほしい
- 3 病院にはすべてまかせられないので、付添による世話はしかたない
- 4 原則的には付添わなくてもすむが、患者や家族の希望によって、付添による世話も受けられるのがよい

問1 4. この病院で家族などの付添が必要かどうか、入院前から知っていましたか。

- 1 付添は必要だと知っていた
- 2 付添はいらないと思っていた
- 3 わからなかった
- 4 気にしなかった

問1 5. 入院中、看護婦に対してどのような感じを受けましたか。下のアからカについて番号を1つずつ○で囲んで下さい。

- ア. なんとなく看護婦には頼みにくい。
1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない
- イ. 説明もしないで検査や処置をする。
1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない
- ウ. 患者と接している時間が短い。
1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない
- エ. 呼んでもすぐきてくれない。
1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない
- オ. 看護婦は忙しすぎる。
1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない
- カ. その他（下の□に具体的にお書き下さい。）

問16. 最後に、病院の看護についてあなたのご意見、ご希望などご自由に下の
□の中にお書き下さい。

長い間ご協力ありがとうございました。

調査結果は、「日本看護協会調査研究報告」に収録し、看護の向上のために活用させていただきます。

*調査票は、黄色の封筒に入れて封をし退院の時、看護婦にお渡し下さい。

付添看護調査（家族票）

昭和55年10月～12月
社団法人 日本看護協会

ご あ い さ つ

このたび日本看護協会では、付添看護について調査することにいたしました。この調査では、家族が入院なさって、病院で付添われたり、付添婦を雇われた時のことをお聞きして、付添看護の実態と問題点を明らかにし、病院の看護をよりよくしていくために役立てたいと思います。

お答えは無記名で、すべて統計的に処理しますので、あなたのお答えが外部にもれてご迷惑のかかるようなことは一切ありません。

お忙しいなかを恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

〔記入していただく方〕

- ◎この調査では、家族・親戚または付添婦などが患者さんのベッドのそばで泊まり込んだり、朝から晩まで付いていた場合を付添ったと考えます。
- ◎入院された患者さんではなく、主に付添った家族の方がお答えください。家族ではなく別の方が付添った場合は、患者さんの入院生活のことをよく知っている家族の方がお答えください。

〔記入方法〕

- ◎あてはまるものの番号に○をつけてください。特にことわりがない限り1つ○をつけてください。

〔返送のお願い〕

- ◎調査票は、2週間位の間記入し、緑色の封筒に入れて切手をはらずにお出しください。最終締め切り日は、昭和56年1月31日です。

〔問い合わせ先〕

〒150 東京都渋谷区神宮前5-8-2

社団法人 日本看護協会調査研究部

電話 03(400)8331 内線231

まず、付添うことになった頃のことをお聞きします。

問 1. 入院なさった方の年齢は何歳ですか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 0歳 | 2. 1～6歳 | 3. 7～15歳 |
| 4. 16～19歳 | 5. 20～24歳 | 6. 25～29歳 |
| 7. 30～34歳 | 8. 35～39歳 | 9. 40～44歳 |
| 10. 45～49歳 | 11. 50～54歳 | 12. 55～59歳 |
| 13. 60～64歳 | 14. 65～69歳 | 15. 70歳以上 |

問 2. 家族・親戚や付添婦が付添い始めた頃、入院なさった方は、どのような状態でしたか。

1. 常に寝たままであった
2. ベッド上で身体を起こせた
3. 手助けがあれば歩くことができた
4. 1人で歩くことができた

問 3. その時の病室は、どれでしたか。

1. 個室
2. 2人部屋
3. 3人以上の大部屋

問 4. 医師や看護婦から、付添うことについて、最初どのように言われましたか。

1. 特に何も言われなかった
2. はっきりは言われませんが、付添った方がよさそうな様子だった
3. 「付添わなくてよい」と言われた
4. 「できれば誰か付けられないか」と相談された
5. 「誰か、付添うように」とはっきり言われた
6. 医師と看護婦によって言うことが違った
7. 看護婦によって言うことが違った
8. その他(具体的に)

問 5. 付添う時、医師や看護婦などから、付添った方が良い理由・付添いを許可する理由についてどういう説明がありましたか、主なものに1つ○をつけてください。

1. 何も説明はなかった
2. 病気が重いから
3. 手術後だから
4. 検査後だから
5. 食事・用便を自分でできないから
6. 子供だから
7. 老人だから
8. 病院に慣れるまで
9. 家族の励ましが必要だから
10. 退院後の患者の訓練・介護の方法を家族が身につけるため
11. 家族が付くのが当然だから
12. この病院では付くことになっているから
13. 病院の人手が足りないから
14. その他(具体的に)

問 6. 家族・親戚、付添婦が付添うことになった頃、次の点で困ったことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。中でも一番困ったことに◎をつけてください。

1. 困ったことはなかった
2. 付添った方がよいのかどうかわからなかった
3. どの位の期間付添うのか見通しがたたず困った
4. 家族の中に付添える人がいなかった
5. 付添婦の雇い方がわからなかった
6. その他(具体的に)

問 7. 入院なさったご本人は、付添ってもらうことを希望しましたか。

1. 家族に付添ってもらうことを希望した
2. 付添婦を付けることを希望した
3. だれでもよいから付添ってもらうことを希望した
4. だれにも付添ってもらうことを希望しなかった
5. わからない(乳幼児、意識不明の場合も含む)

問 8. では、あなたは、付添うことを希望しましたか。

1. 自分自身が付きたいと思った
2. 身内のだれかが付いた方がよいと思った
3. だれかが付いた方がよいと思った
4. だれも付添わずにすむことを希望した

問 9. 家族・親戚、付添婦がついた理由として、あてはまるものにすべて○をつけてください。中でも一番強い理由に◎をつけてください。

1. 患者のことが心配だったから
2. 病院の看護だけでは、世話が不十分だと思ったから
3. 退院後の患者の訓練・介護の方法を家族が身につけるため
4. 患者が希望したから
5. 危篤状態だったので
6. 医師、看護婦に言われたから
7. 他の患者やその家族への気がねから
8. 家族が入院したらだれか付添うのが当然だから
9. 親戚・隣近所の手前
10. 面会に通うのが不便だったので
11. その他(具体的に)

問 1 0. 付添った人は、患者からみてどなたにあたりますか。付添った人すべてに○をつけてください。

1. 妻
2. 嫁
3. 母
4. 娘
5. 姉妹
6. 夫
7. 息子
8. 父
9. 兄弟
10. その他の家族、親戚
11. 付添婦
12. その他(具体的に)

問 1 1. 家族・親戚、付添婦は、付添うために泊まりこみましたか。

1. 病室に泊まりこんで付添うことが多かった
2. 病院に通って、朝から晩まで付添うことが多かった
3. 泊まり込みと通いの期間が半々だった

家族・親戚が付添われた方にお聞きします。付添婦だけが付添った場合は、問16に進んでください。

問1 2. あなたも含めて家族・親戚は、全部あわせて何日間位付添いましたか。付添婦の付いた期間は入れないでください。

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 5日以内 | 2. 6～10日 | 3. 11～15日 |
| 4. 16～20日 | 5. 21～25日 | 6. 26～30日 |
| 7. 1か月～2か月未満 | 8. 2か月～3か月未満 | |
| 9. 3か月～6か月未満 | 10. 6か月～1年未満 | |
| 11. 1年以上 | | |

問1 3. 付添った時、病院で実際にどんなことをしましたか。行なったことすべてに○をつけてください。

1. 患者の様子をみている
2. 患者の様子がおかしい時、医師や看護婦に連絡する
3. 患者の心配事を聞く
4. 患者を励ます
5. 医師、看護婦に病状などを聞いて患者に説明し、患者を少しでも安心させる
6. 痛いところをさする
7. 用便の世話
8. トイレまで連れていく
9. 食事を食べさせる、食べやすいようにする
10. おかずやおやつを用意する
11. 寝がえりの手助けをする
12. 体を拭く
13. ベッドの回りの整理整頓
14. 患者を病院内の検査室や訓練室などに連れていく
15. 体温を測る手伝いをする
16. 点滴の終わりを知らせる
17. 薬を飲ませる
18. 洗濯
19. 買い物
20. 面会人の接待
21. 病室・廊下の清掃
22. その他(具体的に)

問1 4. 付添ってみて、病院の設備などで、困ったことすべてに○をつけてください。
中でも一番困ったことに◎をつけてください。

1. 困ったことはなかった
2. 付添っている人の食事
3. 付添っている人の寝具
4. 付添っている人の入浴設備
5. 付添っている人の休憩室
6. 洗濯場・洗濯機
7. 物干し場・乾燥機
8. その他(具体的に

)

問1 5. では、付添ったことで、家族自身次の点で困りましたか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

【家族の疲労】

1. あまり疲れなかった
2. 少し疲れた
3. 非常に疲れた
4. 健康を害した

【職業について】

1. 仕事に影響はなかった
2. 付添ったために仕事に差し支えが生じた
3. 付添ったために仕事をやめざるをえなかった

【家庭生活について】

1. 家庭生活に影響はなかった
2. 家庭生活に何らかのかたちで支障があった

具体的に聞かせください。

ここでは、今回の入院で付添婦を雇った方にお聞きします。雇わなかった方は、P 8 の問 21 にお進みください。

問 1 6. 今回の入院で付添婦を何人雇いましたか。

1. 1 人だけ
2. 2 人
3. 3 人
4. 4 人
5. 5 人以上

問 1 7. 今回雇った付添婦の資格と年齢をお聞かせください。2人以上雇った場合は、一番長く雇った人のことでお答えください。

〔看護免許の種類〕

1. 看護婦
2. 准看護婦
3. 無資格
4. わからない

〔年 齢〕

1. 30 歳未満
2. 30 歳代
3. 40 歳代
4. 50 歳代
5. 60 歳代
6. 70 歳以上

問 1 8. 今回の入院で、あわせて何日間付添婦を雇いましたか。

1. 5 日以内
2. 6～10 日
3. 11～15 日
4. 16～20 日
5. 21～25 日
6. 26～30 日
7. 1 か月～2 か月未満
8. 2 か月～3 か月未満
9. 3 か月～6 か月未満
10. 6 か月～1 年未満
11. 1 年以上

問 1 9. 付添婦に直接支払ったお金は、1日あたりいくらでしたか。また、今回の入院で付添婦にあわせていくら支払いましたか。

【1日あたり】

1. 4,999 円以内
2. 5,000～5,999 円
3. 6,000～6,999 円
4. 7,000～7,999 円
5. 8,000～8,999 円
6. 9,000～9,999 円
7. 10,000～10,999 円
8. 11,000～11,999 円
9. 12,000 円以上

【総 額】

1. 5 万円未満
2. 5 万円～10 万円未満
3. 10 万円～15 万円未満
4. 15 万円～20 万円未満
5. 20 万円～25 万円未満
6. 25 万円～30 万円未満
7. 30 万円～40 万円未満
8. 40 万円～50 万円未満
9. 50 万円～100 万円未満
10. 100 万円以上

問 2 0. 今回雇った付添婦は、よい方でしたか。

1. (皆) よい人だった
2. まあよい人だった・よい人が多かった
3. あまりよい人ではなかった・よい人は少なかった
4. (皆) よい人ではなかった

どういう点が不満でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 思うように世話をしてくれなかった
2. 話し方や世話の仕方が荒かった
3. 高齢で頼りなかった
4. 患者のそばを離れることが多かった
5. 患者を甘やかせてしまった
6. 規定外の料金や謝礼を要求された
7. 患者と性格が合わなかった
8. その他(具体的に)

ここからは、全員がお答えください。

問 2 1. 今回のご家族の入院で、家計上苦しさを感じましたか。

1. おおいに感じた
2. やや感じた
3. 感じなかった

その主な原因に3つまで○をつけてください。

1. 付添看護料の支出
2. 差額ベッド代の支出
3. 保険の自己負担
4. 保険のきかない医療費の支出
5. 謝礼・交通費など雑費の支出
6. 収入が減ったから
7. その他(具体的に)

問 2 2. 基準看護をとっていない病院で付添婦を雇った場合、付添料が、申請によって健康保険や労働災害補償保険から払い戻しされる制度があることをご存じですか。

1. 申請した
2. よく知っている
3. 聞いたことはある
4. 知らない

問 2 3. 付添ってみて、病院の看護婦の対応に不満だったことがありましたか、あてはまるものすべてに○をつけてください。中でも一番不満だったことに◎をつけてください。

1. 入院生活の諸規則をきちんと教えてくれなかった
2. 患者の看護の仕方を教えてくれなかった
3. 症状や検査のことなど聞いてもきちんと説明してくれなかった
4. 相談にのってもらえなかった
5. 少しの間患者のそばを離れる時、みてくれなかった
6. 呼んでもすぐきてくれなかった
7. 言葉使いや態度がそっけなかった
8. 付添っている家族や付添婦を避けているようだった
9. 医師と看護婦で言うことが違った
10. 看護婦によって言うことが違った
11. その他(具体的に _____)

問 2 4. ご家族の方が入院中、かりに誰も面会時間以外に付添わなくて病院にまかせてもあなたのご家族(患者)は不自由なかつたと思ひますか。

1. 付添わなくても、まったく不自由しなかつただろう
2. 付添わなくても、何とかなつただろう
3. 付添わないと患者が困つただろう
4. 付添わないと患者にとって危険だつたろう

どのような点かをお聞かせください。

()

問2 5. あなたは、家族が入院した時、付添わなくても患者の世話が原則的に病院に安心してまかせられるようになることを望みますか。

1. ぜひ望む
2. できれば望みたい
3. どちらでもよい
4. 望まない

問2 6. あなたは、面会時間以外に、家族が患者のベッドのそばで付添うことについて、今後どのようにしたらよいと思いますか。

1. 面会時間以外の家族の付添は、全面的になくした方がよい
2. 医師・看護婦が、患者にとって家族が必要だと認めた場合だけ付添うのがよい
3. 患者・家族が、望んだ場合だけ付添うのがよい
4. 家族が入院したら、必ずだれか付添うのがよい

あなたは、どんな場合に付添うことを望みますか、望む場合すべてに○をつけてください。

1. 危篤状態
2. 乳幼児
3. 小学生
4. 老人
5. 手術後
6. 不治の病とわかっているとき
7. 患者が不安がっているとき
8. 患者を一人にしておくと危険なとき
9. 患者が自分で食事や用便などできないとき
10. 患者が望めばいつでも
11. 退院後の訓練・介護の方法を家族が覚えなければならないとき
12. その他(具体的に)

ここでは、あなたご自身のことについてお尋ねします。

問 2 7. あなたの年齢は、何歳ですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60歳以上 |

問 2 8. 入院した方にとってあなたは何にあたりますか。

- | | | | | |
|------------|-------|------|-------|-------|
| 1. 妻 | 2. 嫁 | 3. 母 | 4. 娘 | 5. 姉妹 |
| 6. 夫 | 7. 息子 | 8. 父 | 9. 兄弟 | |
| 10. その他() | | | | |

問 2 9. 入院された方とあなたとの日頃の間柄はどうでしたか。

- | | | |
|------------|---------|-------|
| 1. とても良い | 2. まあ良い | 3. 普通 |
| 4. あまり良くない | 5. 良くない | |

問 3 0. あなたは、どこにお住まいですか。

1. 政令市 (東京都23区、札幌市、横浜市、川崎市、名古屋市、
京都市、神戸市、大阪市、広島市、北九州市、福岡市)
2. 県庁所在地 (秋田市、千葉市、甲府市、鹿児島市など)
3. その他の市
4. 郡 部

最後にあなたのご意見やご感想をお聞かせください。

問3 1. ご家族の方が入院中、病院の看護婦の対応で、うれしかったことや満足だったことがありましたら、お聞かせください。



問3 2. 今後、病院の看護婦に望むことをお聞かせください。



長い間、ご協力ありがとうございました。

調査結果は、「日本看護協会調査研究報告」に収録し、看護の向上のために活用させていただきます。

調査票は、緑色の封筒に入れて、切手をはらずにお出してください。